

◆ サイバー政策検討委員会

趣 旨

防衛省・自衛隊におけるサイバー政策に係る検討体制を一層強化するため、新たに副大臣を長とする「サイバー政策検討委員会」を設置

構 成

委員長：防衛副大臣

委員長代理：左藤政務官、佐藤政務官

副委員長：事務次官

委 員：官房長、防衛政策局長、運用企画局長、人事教育局長、経理装備局長、技術監、審議官(サイバー攻撃対処担当)、審議官(防衛産業担当)、各幕僚長、情報本部長、技術研究本部長、装備施設本部長

検討グループ

細部の検討を行うため、委員会の下に検討グループを設置

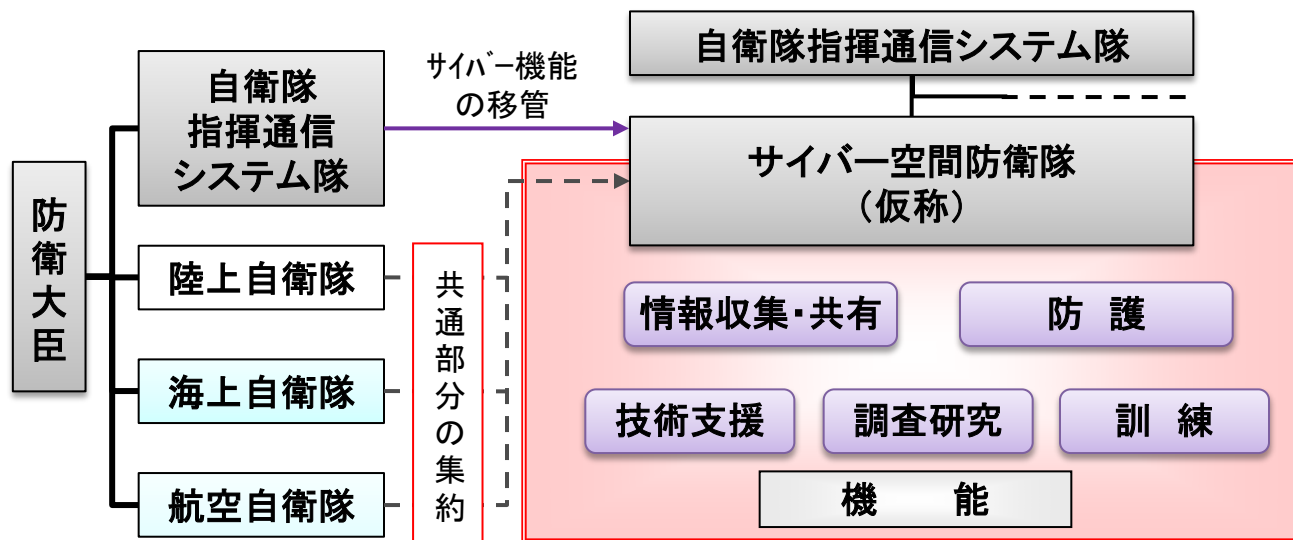
- ◆政策・編成グループ（長：防衛政策局防衛政策課長）
諸外国や関係機関との協力、サイバー攻撃等の法的位置付け、体制の整備
- ◆情報通信グループ（長：運用企画局情報通信・研究課長）
サイバー攻撃等への対処に係る事業・運用
- ◆人的基盤グループ（長：運用企画局情報通信・研究課長、人事教育局人事計画・補任課長）
サイバー攻撃等への対処を担う人材の育成・確保
- ◆防衛産業・調達グループ（長：運用企画局情報通信・研究課長、経理装備局装備政策課長）
防衛産業との協力、サプライチェーンリスクへの対応

◆ 平成25年度予算案におけるサイバー攻撃等対処関連事業

①体制の充実・強化

○ サイバー空間防衛隊(仮称)の新編

- ・ 日々高度化・複雑化するサイバー攻撃の脅威に適切に対応するため、「サイバー空間防衛隊(仮称)」を新編
- ・ 防衛省・自衛隊のネットワークの監視及び事案発生時の対処を24時間体制で実施するとともに、各自衛隊に分散しているサイバー攻撃等に関する脅威情報の収集及び調査研究を一元的に行い、その成果を省全体で共有



○ サイバー攻撃等対処企画機能の強化

- ・ 防衛省・自衛隊におけるサイバー攻撃対処等に係る総合的な企画機能の強化のため、運用企画局情報通信・研究課に「サイバー攻撃対処・情報保証企画室(仮称)」を新設
- ・ 統幕におけるサイバー企画機能を集約し、より組織的にサイバー攻撃等対処業務に取り組む体制を構築するため、指揮通信システム企画課に「サイバー企画室(仮称)」を新設

◆ 平成25年度予算案におけるサイバー攻撃等対処関連事業

平成25年度予算案におけるサイバー関連経費 141億円

(平成24年度予算 92億円)

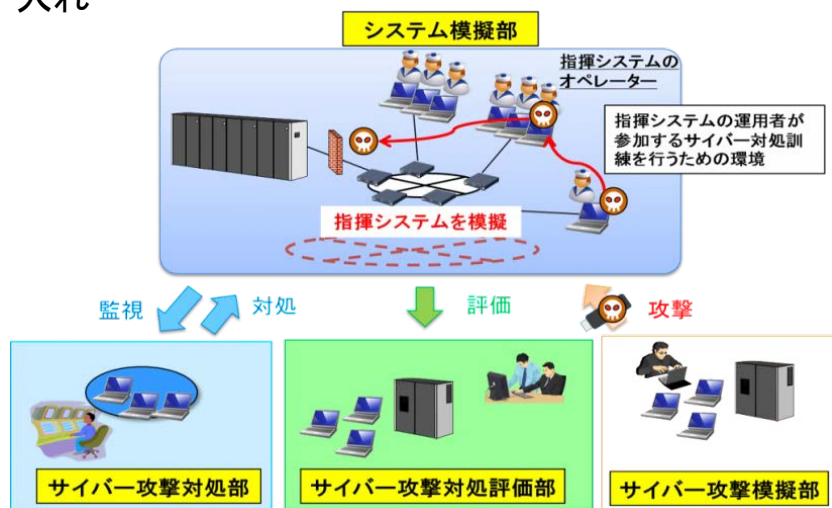
②運用基盤の充実・強化

○ ネットワーク監視態勢の強化 (69億円)

防衛情報通信基盤(DII)において、サイバー攻撃等に関する状況把握能力を向上させるとともに、サイバー攻撃等発生時における被害局限化、早期復旧等の対処能力を強化するため、ネットワーク監視器材を整備

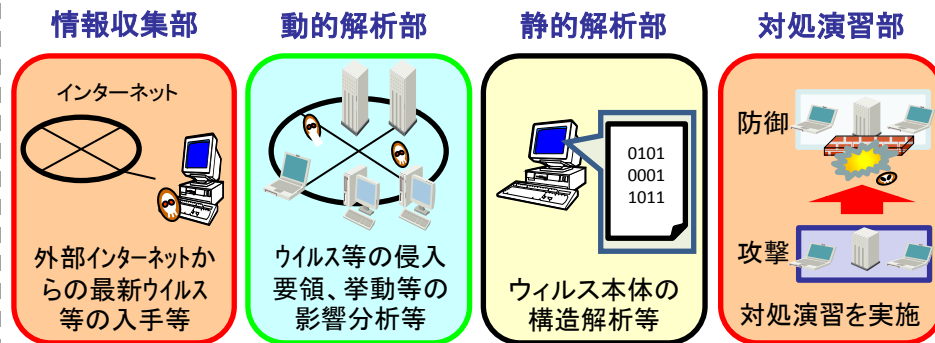
○ サイバー演習環境構築技術に関する研究 (16億円)

- ・ 指揮系システムについて、サイバー攻撃時においても部隊運用を継続するとともに、被害の拡大を防止するなどの事後対処能力の練度向上を目的としたサイバー演習環境の構築技術に関する研究を実施
- ・ 「運用実証型研究」として、運用者の意見を事業に取り入れ



○ サイバー防護分析装置※の機能強化 (5億円)

※ サイバー攻撃等に係る情報収集・解析・対処演習機能を備えた装置



○ 情報保証に係る最新技術動向等の調査研究

(0.2億円)

③人材育成・確保及び外国との連携強化

○ サイバー攻撃等対処に向けた人材育成の取組

(0.8億円)

- ・ 国内外の大学院等への留学等
- ・ 情報セキュリティ関連機関等への研修等

○ 各国との連携の強化 (0.1億円)

- ・ ITフォーラムへの参加等